【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和6年11月19日(2024.11.19)

【国際公開番号】WO2024/135514
【出願番号】特願2024-523465(P2024-523465)
【国際特許分類】
C09J175/06(2006.01)
B65D 65/40(2006.01)
B32B 27/40(2006.01)
【ＦＩ】
C09J175/06
B65D 65/40 DBRQ
B32B 27/40

【手続補正書】
【提出日】令和6年4月18日(2024.4.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ポリエステルポリオール化合物（Ａ）を含むポリオール組成物（Ｘ）と、ポリイソシアネート化合物（Ｂ）を含むポリイソシアネート組成物（Ｙ）とを含む生分解性２液硬化型接着剤であって、
前記ポリエステルポリオール化合物（Ａ）の数平均分子量が５００～２０，０００の範囲であり、
前記ポリエステルポリオール化合物（Ａ）又は前記ポリイソシアネート化合物（Ｂ）のいずれか又は両方が、第４級炭素原子を有し３価以上の水酸基を有する脂肪族アルコールの反応生成物であることを特徴とする生分解性２液硬化型接着剤。
【請求項２】
前記ポリエステルポリオール化合物（Ａ）が酸変性されている請求項１に記載の生分解性２液硬化型接着剤。
【請求項３】
前記ポリイソシアネート化合物（Ｂ）が第４級炭素原子を有し３価以上の水酸基を有する脂肪族アルコールの反応生成物である請求項１に記載の生分解性２液硬化型接着剤。
【請求項４】
前記ポリエステルポリオール化合物（Ａ）が、ジエチレングリコールあるいは１，２－アルカンジオールを原料の一部として使用して得られる反応生成物である請求項１に記載の生分解性２液硬化型接着剤。
【請求項５】
前記２液硬化型接着剤全質量中の、前記第４級炭素原子を有し３価以上の水酸基を有する脂肪族アルコール量が、０．０５～１．０ｍｍｏｌ／ｇである請求項１に記載の生分解性２液硬化型接着剤。
【請求項６】
前記２液硬化型接着剤全質量中の、芳香族環及び／または脂肪族環の含有量が、０．６３～２．８ｍｅｑ／ｇである請求項１に記載の生分解性２液硬化型接着剤。
【請求項７】

ヒドロキシカルボン酸の脱水縮合物（Ｃ）を含有する請求項１に記載の生分解性２液硬化型接着剤。

【請求項８】

第一の基材と、第二の基材と、前記第一の基材と前記第二の基材との間に配置された接着層とを含み、前記接着層が請求項１～７のいずれか一項に記載の生分解性２液硬化型接着剤の硬化塗膜であることを特徴とする積層体。

【請求項９】

請求項８に記載の積層体を使用する包装材。

【請求項１０】

第一の基材と、第二の基材と、前記第一の基材と前記第二の基材との間に配置された接着層とを含み、前記接着層が請求項１～７のいずれか一項に記載の生分解性２液硬化型接着剤の硬化塗膜である積層体を、剥離液に浸漬し積層体を各層に分離する工程と、分離した各層を回収する工程とを有する、積層体のリサイクル方法。